

WEEKLY

ツーリズムビジネス専門誌  
週刊トラベルジャーナル2012年12月24日発行(毎週月曜日発行)  
第49巻第52号通巻2831号  
1964年9月17日第三種郵便物認可

# TRAVEL JOURNAL

Japan's No.1 Travel Trade Magazine

2012  
12/24・31  
合併号

# 2012年を 総括する

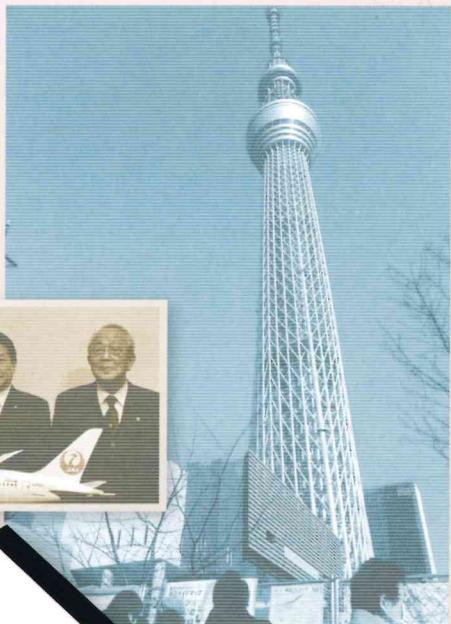
ニュース、言葉、  
観光庁長官と振り返って

注目の事例

## HISが入社月選択制度

誌上セミナー

JNTO発外客攻略のヒント  
チャイナリスクにどう向き合う



好評連載

### 視座

ドン・キホーテ  
中村好明ゼネラルマネージャー

### SCRAP

添乗員付き団体旅行でウェブと勝負

### 着地型のレシピ

女性のための喜多方グリーンツーリズム

### 5分でわかるツーリズム

世界中の富裕層を取り込めるの?

### ナベケン流インバウンドの教科書

伝統文化とエンタメ



取材報告

JATA復興支援で  
1000人を東北へ

クルーズレポート

言葉で振り返る  
2012年

思い、決意、そして未来へ

観光立国を宣言し、観光庁もつくった。  
だが国民の間で、外国人、  
特にアジアから受け入れる用意が  
果たしてどれだけできているのか。

急激に増えることへの懸念もあるだろう。  
日本ができていないのはまさにここ。

徳永 誠 | マレーシア政府観光局  
マーケティングマネージャー

## 国民一人ひとりが 出身地のお国自慢をする。

それが世界に向けての日本のお国自慢にもつながり、  
幸せな国づくりの一歩になれば、  
こんなうれしいことはない。

大西 誠 | ジャルパック代表取締役社長(当時)

## 観光立国に ついて

Tourism-oriented  
country

ひとたび日本人の  
おもてなしの心に触れた  
外国人は、  
必ず日本びいきになる。

彼らが接客レベルに感動し、  
『どのようにして勉強するのだ』と質問てくる  
間は絶対に追いつくことはできないと、  
心の中でガツツボーズをきめている。

## 未来へつなぐ

To the future

旅行は行く前から始まっている。  
インスピレーションを与えるのはもはや紙ではなくウェブ。  
パーソナライズ化は旅行産業も例外ではなく、  
旅行会社は個々のニーズを把握し  
“体験”をマネジメントすることが重要。

マイケル・フレンツェル | TUI CEO

これからは成長と発展の  
どちらにも対応できる  
人財が求められる。  
成長とは子供が大人になつたり  
苗木が大木になることで、物事の本質は  
変わらない。发展とはオタマジャクシが  
カエルになるようなもので、  
本質が変化する。どちらも重要。

## 国内旅行事業は

“サプライヤーモノポリー”で参入障壁が  
高かったが、LCCの就航で壁が低くなる。

今、国内に265の店舗網を持つ旅行会社はそうない。

これを強みに、

いずれ海外旅行と同等の規模にしていく。

平林 朗 | HIS代表取締役社長

そもそもターゲットの  
狭い商品を置くリスクを  
いつまでも  
店頭に求めることが  
間違っているのではないか。  
メーカー自体がお客様の問い合わせをして  
販売先を担保するスキームを  
構築しなければ、実績は上がっていない。

七海聰子

日本旅行海外旅行事業部  
マネージャー

今までわれわれは常に受け身だった。  
原点に立ち返って自分自身で  
販売管理する枠組みを作ることで、  
低迷する国内観光に一石を投じられたら。  
**宿泊市場全体で見れば  
非常に小さな動きだが、  
必ず成功させて先につなげる。**

針谷 了 | 湯元館(雄琴温泉)  
代表取締役

## 決意のほど

Determination

原 優一  
風の旅行社代表取締役

誤解を恐れずに言えば、  
日々の忙しさのなかで  
流そうと思えば、  
流して終わってしまう。  
アンケート公開はそんな  
甘えを徹底的に排除し、  
良い緊張感のなかで  
崖っぷちに立って  
仕事をしようということ。

篠塚恭一  
S.P.I.あえる俱楽部  
代表取締役

介護が必要でも希望を持ち  
元気に暮らす人々が多い  
町そのものがシヨーケース。

介護が必要となつても、幸せに暮らすことができる要因がどこにあるか、  
どんな人的資源を必要とするのか。  
地域が取り組むまちづくり、人づくりそのものが視察対象で、

## 旅行業者は魔法使いで 旅行業法は魔法の法典。

村瀬茂高 | ウィラーアライアンス代表取締役社長

障害をもつ人は家庭の中で自分の存在価値を見いだしにくいが、  
かつて得意だったことや好きなことをクラブ活動で  
やれば生きがいになる。**デイサービスに  
通うこともひとつの旅行。  
それが自立支援につながっていく。**

長橋正巳 | クラブソーリズム・ライフアーサービス  
取締役事業部長

これから作るのは次の時代を担う新たな航空会社。  
**5~10年先のアジアの大航海時代に座席供給できる  
旅行会社でないといけない。**

今でも遅いくらいだが、今やっておかなければ。

澤田秀雄 | HIS代表取締役会長、12月4日の  
国際チャーター専門会社設立会見で